



むっごろ



(写真は、果てしなく広がる有明海ののり養殖)

9

会報 むっごろ

昭和 60 年 2 月 23 日 発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 溝上 嘉幸)
福岡市中央区天神 4 丁目 1-6
昭和セントラルビル内 (〒810)
☎ 092-761-8253
制作 (有)タナカ製本印刷所
☎ 092-441-2552



陣内孝雄・九地建局長



林 照雄・福岡県出納長



山本茂樹・福岡市助役

九州の治山治水、都市、道路、港湾などの開発、整備事業のトップに立つ建設省九州地方建設局長に、陣内孝雄さん(五〇)が一月十八日付で就任されました。陣内さんは神埼郡神埼町師川の出身です。旧制佐中一佐高一京大工学部土木工学科に進まれ、昭和三十三年、京大工学研究科修士課程を修了、建設省入り。関東地建、近畿地建などを経て五十八年十一月から本省河川局

の河川計画課長でした。九州出身ながら九州は初の任地です。「九州新時代の飛躍のために力を注ぎます。」と「ICアイランド」といわれる九州ですが、部品工場があるだけだし、北部九州はまだまだ水不足です。九州縦貫道、横断道の整備とともにアクセス道路も大事で、道路、河川、都市の整備などで、自然を大切にしながら産業、文化の基盤づくりに努めたい」と

張り切っておられます。家族は奥さんと大学四年の長女と大学受験の長男。当分の間は「博チヨン」で、「神埼町には酪農を営む兄がいるので、落ち着いたら田舎を訪ねます」。趣味は囲碁と書道です。住まいは

就任されました。林出納長は、昭和二十年三月県立福岡農学校(旧制)を卒業。福岡県福岡地方事務所入り。北九州商工事務所長、飯塚財務事務所長、農業経済課長、農政課長、農政部参事を経て、五十九年一月から秘書室長でした。家族は

保泉町川久保出身が、昨年十二月二十二日付で、福岡市助役技術担当に就任されました。山本助役は、建設省九州地方建設局企画部長からの起用によるものです。山本助役は、昭和三十三年九州大学工学部卒業、すぐ建設省入り。五十九年二月九州地方建設局企画部長に就任しました。家族は

神埼町出身の陣内孝雄氏が九地建局長に就任

期待される佐賀県人たち

山下運輸相誕生



まとも役の要職であります。十月末には、佐賀県人会・顧問でもある山下徳夫・代議士(佐賀県選出)が、運輸大臣に就任されました。佐賀県にとって、十年ぶりの大臣誕生であり二重の喜びです。福岡県庁でも、十月十七日付

で、林照雄・秘書室長(基山町出身)が出納長に選任されました。特別職三役のひとつの重要な職務です。福岡市では、十二月二十二日付けで、山本茂樹・前九州地方建設局企画部長(佐賀市出身)が市助役(技術担当)に起用さ



明けておめでとうござい。福岡市佐賀県人会のみならず、昭和六十年新春のお慶びを申し上げます。あわせてより一層のご発展をお祈りいたします。いま、私たちが生活している福岡県にとって、ふるさと佐賀

県は「お隣りさん」。経済圏もひとつであり、最も親しい間柄といえます。それだけに福岡都市圏百二十万人のなかに佐賀県出身の人たちは九万世帯を数えるといえます。各分野に広く活躍されていて、最強の県人パワーに指折られています。

財界、県政、市政に活躍する佐賀県人ふるさと発展にも協力しましょう。

福岡市佐賀県人会会長 金子宣嗣

福岡県政、福岡財政、福岡市政のトップレベルに、同じ佐賀県をふるさとにする方たちが活躍になるのは、私たちにとても非常に心強く思います。

福岡市佐賀県人会・顧問でもある山下徳夫・代議士(佐賀県選出)が、昨秋、中曽根内閣改造人事で「運輸大臣」のイスを射止められました。六十五歳の佐賀県では、第二次田中内閣で、故保利茂・代議士の行政管理局長官就任のあと十年ぶり。戦後五人目の大臣誕生です。政策にも強い。話し上手。

唐津市出身、溝上嘉幸・常務理事(白石町出身)が就任されて、ご活躍がみられます。

九州横断自動車道佐賀一鳥栖間も近く開通見込みであり、佐賀・福岡県は一本のハイウェイによって、より力強く結ばれます。ふるさと佐賀の発展をみんなで応援しましょう。(昭和自動車社長、唐津市出身)

た運輸行政からみの懸案事項も多い。それだけ期待も大きいわけです。佐賀空港建設促進期成会の香月義人・会長(県商工会議所連合会長)は、「山下運輸大臣は交通問題にも理解が深いし、党の航空対策委員長もされているし、期待が大きい。自宅は

戸建から、マンションまで、建築一筋に33年

確かな技術で、高い信頼に応える……

総合建設業 大臣許可 59-179

中村建設株式会社

代表取締役 会長 中村 常一

本社 福岡市中央区笹丘一丁目32番9号 TEL(771)6131-5
創業 昭和27年 小城郡小城町出身

昭三十四年製麦工場を
三十九年倉庫業に転進

「まるまん倉庫」を始めたのは、戦後、深刻な食糧難をみて二十四年、現在地（福岡市博多区東那珂二丁目）に開設した製麦工場でした。

このあと食生活の変化、食卓からのムギ離れをみて三十九年倉庫業に転進しました。高度経済成長に伴い業績も順調に伸びました。これによって拡大した敷地内に、事務所ビルを建設し



て、倉庫上層階に賃貸アパートをつくるという経営戦略を展開しました。

荷主さんから、「近くに事務所を探してほしい」「従業員の住居もみつめてくれないか」といった要望をうけまわして、「そんなら自分とてついでにつくってしまおう」というわけで

ムギ茶は広島まで販売エリアの広さ誇る

ムギから方向転換はしましたが採算性のいいものは残してい

ます。

ムギ茶では九州最大手として、広島地方まで販売エリアにしています。穀物でも、太宰府天満宮の名物「梅ヶ枝もち」の原料粉指定工場でもあります。

「待ち」から「攻め」に多角化にチャレンジ

本業「倉庫業」は、このころ方向転換がみられます。

これまでは、どちらかというと、企業を相手にして大量の荷を獲得するという典型的「待ち

製麦、倉庫業、賃貸アパートと経営多角化に取組む

佐賀県人会常務理事

原 進さん (60)



みの種です。とくに都心のオフィスでは、高い地価や賃料が高くて狭いスペースが、山積みされた書類に占領されて、人間の身動きがとれないという悲喜劇も見聞します。

「株式会社見上」（福岡市）では、毛皮保管を中心にした個人向けトランクルームが知られています。書類保管は、「まるまん倉庫」が、九州初めてです。倉庫業も「買い手市場」、企業体力強化へ

品ストックが以前は数カ月かけ回転したものが、いまは半月という速さです。メーカーや問屋は、ほとんどが徹底して在庫を大きくしない方針です。このため荷の全体量は横ばいであり、この「小さいパイ」を同業者がワツとばかり争うので、すっかり買い手市場です。

「新しい仕事」を開発して、企業の体力強化を図ることが大事です。

史蹟

多久聖廟 多久邑主多久茂文が元禄十二年（西暦1699）東の原（現・多久市多町東の原）に藩校「東原塾舎（しやうしや）」を建てて、中国製の孔子および孟子など四哲像を安置しました。

このあと宝永五年（1708）孔子を祭る建物「聖廟」が完成したので、毎年四月と十月の十八日に孔子の祭り「釈菜（せきさい）」があります。

「聖廟」は、多久市と岡山県に残るだけで、「多久聖廟」は国の重要文化財に指定されています。

金子財団300万円贈る

11団体
1施設

青少年健全育成など

県内の青少年健全育成、社会福祉に寄与することを目的に助成を続ける財団法人・金子財団（金子宣嗣理事長）の本年度助成

金の贈呈式が十二月十四日、佐賀県庁でありました。今回、助成を受けたのは、県母子寡婦福祉連合会、県身体障

害者スポーツ協会など十一団体と一施設。それぞれ十万円から四十五万円。総額三百万円。各団体、施設の代表者らに金子勝商事が目録を贈呈。助成を受けた県青少年育成県民会議の竹下亮一会長が、「寄贈の趣旨を尊重して有意義に活用します」

とお礼を述べました。金子財団は五十年六月に設立。五十一年度から毎年助成を続け、今回の分を合わせて総額二千六百二十万三千円を県内の青少年育成、福祉団体などに贈っています。

180年前の「くど造り」

宮地嶽神社（福岡）の民家村に

白石町から移転、修復

民俗や建築の参考資料に高く評価されている佐賀県白石平野の「くど造り民家」が、宮地嶽神社（宗像郡津屋崎町）に原形保存されて、参拝客の関心を集めています。

この民家は、佐賀県杵臼郡白石町須古地区にありました。同町福田地区、農業吉岡晴見さん（金五）の尽力で、神戸市に住む成富安雄さ

ん（四八）、宗像神社が無償で譲り受けました。昨年八月に解体移転が完成しました。建て面積百六十平方メートルです。復元資料の屋根用ヨシ、竹、縄などは佐賀県からトラック十台で運び込み、吉岡さんら十八人が十日間かかって屋根ふきをしました。この民家は百八十年前に建てられたもので、棟の高さを変えずに間取りを広くする工夫があり、棟はカギ形をつけ「コ」の字」になっているのが特色です。

宮地嶽神社の境内には、合掌造り（東北地方）など五戸が復元されています。

佐賀県内初の石人石馬 佐賀市・西原古墳で発見

佐賀市久保原町川久保、西原古墳で、このほど石人石馬（せきじんせきば）の一種とみられる石製品が県内初めて発見されました。石人石馬は、阿蘇の凝灰岩を材料にした古墳の装飾品です。五世紀―六世紀にかけて北部九州に勢力をふるった筑紫国造「磐井（いわい）」一族の治めた範囲を示す物証といわ

れています。

これまで八女市の「岩戸山古墳」を中心に福岡・熊本・大分と鳥取四県に限られていました。今回の発見は、当時、この周辺まで勢力範囲が盟友関係であったことを示します。

この石製品は、高さ七十四センチ、最大幅四十五センチ、最も厚い部分十五センチ。上部が二また状になり

中央部が幅広くなっています。石人石馬は、人物像が馬像のほかに武器などを模したものもありますが、これは器材形に分類される鞍（巾きり矢を入れる筒）か、さし（身分の高い人に差し出すうちわ）ではないかとみられています。

「西原古墳」は、五世紀後半のもの。県内では中規模の前方後円墳です。全身五十五センチ、高さ五センチの墳丘状。昭和初期から破壊が進み、現在ではほとんど原形をとどめていません。

八女市の（岩戸山古墳）では大量の石人石馬が発見されています。

IBMシステム/36

IBMシステム/36 SX

IBMマルチステーション 5550

IBM製品の販売・システム開発全般

IBM 特約店 昭和セントラル株式会社

代表取締役 金子宣嗣

福岡市中央区天神4丁目1-6 電話 (092)761-6081

殉職した故原口幸夫。肥前山口駅助役の遺族に「激励の輪」

進入ベルが鳴っている駅構内線路を横切っていた乗客を助けようとして列車にはねられ殉職した国鉄肥前山口駅助役（名誉副参事に特進）原口幸夫さん（四七）佐賀市大町六丁目遺族は、葬儀のあと香典と弔問客名簿を盗まれる二重の悲運に見舞われたが、このあと故原口助役の佐高同窓会、全国の国鉄マンはじめ見知らぬ人たちからも励ましの見舞金が続いて届けられました。

故原口助役と仲間だった佐高四回生同窓会（片江正則会長）は、昨年十二月二十日総額百五十万円（個人・団体三百四十一件）を霊前に供えました。このなかには、佐賀新聞記事でカンパを知った一般市民、宮島剛・佐賀市長はじめ市三役、佐高三回生同窓会、国鉄OBから寄せられた「愛の拠金」もありました。

また二十二日には百瀬茂・東京駅長が全国の国鉄職員に呼びかけた義援金を持参して遺族宅を訪れて、すなの末亡人（四七）に手渡しました。

遺影の前で焼香した百瀬・東京駅長は、「故原口助役の崇高な責任感には、全国鉄職員が心をうたれています。二重のショックを知り、遺族のみなさんを励まそうと拠金したものです」と語り、すなの末亡人を励ました。

唐津市の市政功労者に谷河さんら57人
唐津市は、一月四日、昭和五十九年度市政功労者を表彰しました。

一般功労者は、黄綬褒章を受けた元唐房漁協組合長、谷河仁吉さん（八三）ほか十四人。勤続二十年以上の市職員四十三人。

一般功労者はつぎの通り。
（敬称略） 原好太郎（大石町）▽三好勤二（千代田町）▽高仲重喜（高砂町）▽故藤井丈夫（刀町）
平松栄一（南城内）▽中川清（浦）▽谷河仁吉（唐唐房五丁目）▽浦田与八郎（湊町）▽清水信成（西寺町）
吉田明露（鏡）▽川添島太郎（西唐津二丁目）▽立花徹三（東城内）
松井宝掌（和多田）▽荒木貞英（和多田）
基山町に新しい私立
高校の建設計画進む



佐賀県三養基郡基山町に、学校法人「鳥栖南科学園」が私立高校建設の計画を進めていることが、十二月佐賀県議会で明らかにされています。

同学園は、十一月九日、県に設置計画概要書を提出しています。県は、これをもとに具体的に内容を検討。県教委や既存の六私立高校と調整をはかるために私学審議会の意見も求めます。計画によると、男女共学。普通科。一学年二百七十人。定員八百八十人。教職員四十九人。地元にあった旧藩校の名称をとり「東明館高校」（仮称）にする意向です。六十二年四月開校予定。将来は全寮制も考慮しているそうです。

生徒募集区域は、当初、県内の鳥栖・三養基地区、福岡県小郡地区が対象。将来は、全県下から人材を集めて、学業だけでなく、スポーツも含めた英才教育を目指すそうです。

玄海原発、八月に3・4号着工見込む
東松浦郡玄海町、九州電力「玄海原子力発電所」では、五十九年十月、3号機・4号機建設が許可されました。土捨て場への運搬道路整備などの準備などに取り組み、この八月には本格工事に着工見込みです。

3号機・4号機は、加圧水型（PWR）。出力は一基百十八万KW。わが国の原子力発電プラントでは最大規模。3号機は六十八年三月から、4号機は六十九年三月に営業運転開始の計画です。

このときには、「玄海原子力発電所」は、1号機・4号機まで四基合計三百四十七・八KWの大発電基地になります。

4月1日から伊万里市大川市大川内山の窯元市
伊万里市は、四月一日〜七日まで同市大川内町大川内山、伊万里・有田焼伝統産業会館において、「第二回伊万里アマチュア陶芸展」を開催します。昨年四月、鍋島藩黒公園オープン、伊万里窯元まつりを記念したイベントで、さらに盛り上げるために全国へPRしています。

審査員は、十三代中里太郎右衛門、十三代今泉今右衛門の両氏。最優秀賞（一点）に「鍋島大賞」（副賞十万円）、優秀賞



（二点・副賞三万円）を贈るそうです。

あわせて、「藩窯の里」のよき、「色鍋島」「鍋島青磁」などの名品もお楽しみください。

盛況だった浜玉町の
特産品加工品展示会
東松浦郡浜玉町は、地元の特産品掘り起こしによる町振興運動の一環としてジャム、漬物類約百種類を集めて、このほど町中央公民館において「地域特産物加工品コンクール」を開催したところ非常に盛況でした。

同町、東松浦東部農協は、昨年十月、「第一回ムラおこしシンポジウム」を開催しました。これをベースにして町商工会、浜崎漁協も協力して、地元の農家、漁家の身近な生産物のなかに町役場の核となる加工品（特産品）を再発見しようという試みです。

町内の農協婦人部、漁協婦人部なども協力しました。

ふるさとと首長



西九州市 市長
大 渡 鐵 郎さん

経験豊富な名町長さん 西九州一を誇る湯の街

連続六期の経験豊富な町長さんです。

同町吉田地区の出身で、旧制鹿島中学校を経て昭和十九年早

西九州一の花どころ小城郡小城町では、「小城公園」を中心にして三月二十四日〜四月二十

小城町の桜まつり

七日まで、盛大に「小城桜まつり」を開催します。各種スポーツ大会や展示会のほか、四月六

「佐賀の祭」

の買得品をそろえて展示即売が人気を呼んでいます。

地区入口の「関所」などで、

大川内山の窯元市

ます。期間中、窯元三十軒の店頭には、「色鍋島」「鍋島青磁」の名品、文字通り「産地直売」

焼き物「藩札」（五百円）を販売して、これを見せると一割引サービスもあるそうです。

稲田大学商学部を卒業。三十八年町長に初当選して、引き続きいて嬉野町の町政運営を担当しています。

この間、三十三年まで町教育委員を務めました。四十七年に西藤津森林組合・組合長、五十四年には佐賀県森林組合連合会・会長に就任して、いまでも現職にあります。

嬉野町のご自慢は、西九州一を誇る「嬉野温泉」、味のよき日本一に指折られる「嬉野茶」、皿山地区などの焼き物です。

大渡町長は、「豊かな緑、明るい暮らし——あたたかい心のふれあう活力のある文化都市」

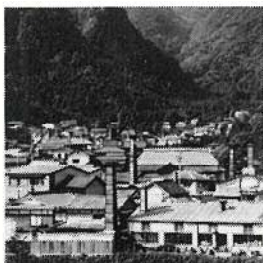
づくりを描いています。このために、「ゆとりのある生活をおくるために、町にあった産業を発展させる町づくり」など、六つの柱の施策を提唱しています。

産業の発展、生活環境の充実によって昭和六十五年の目標人口二万三千人を描いています。

佐賀県人会にひとこと「嬉野温泉」は、お湯が豊富だし、「湯どうふ」のおいしさは格別です。清流も美しいし、ぜひおでかけください。また「嬉野茶」のご愛用もお願いします。

があり、赤、白、ピンク、フジと満開の花が咲き乱れて素晴らしい眺めを描きます。期間中、「町民ノド自慢大会」も楽しみにされています。

「小城公園」は、国鉄小城駅や昭和バス小城営業所下車、歩いて五分くらいです。



メンバーズ まこと — 真心の通い合う県人の店 —

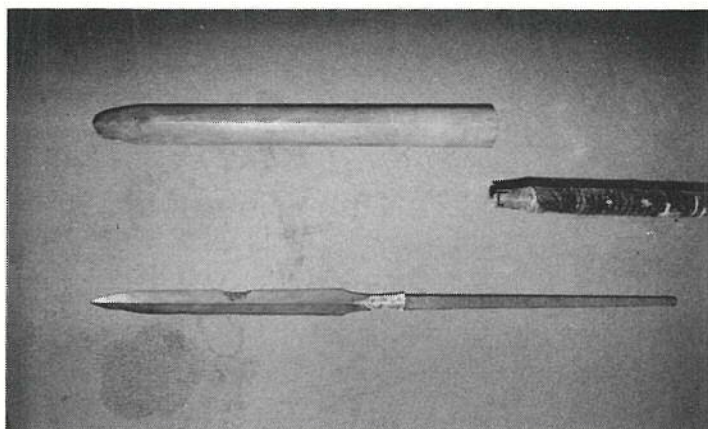
福岡市博多区中洲3-4 多門ビル83(3F)大通り福岡東映前

古川公子(神埼郡出身)

☎281-2069・2073 (夜)

641-1959 (昼)

佐賀市内と白石町に姉妹店あり。お気軽にお立ち寄り下さいませ。



織田信長を刺したヤリ



寺澤廣高が築いた唐津城

高田(現新潟県高田市)生まれ。十代貞固(明治四十四年没)の四男四女の末子。実兄の十一代貞成(昭和七年没)に後継者がいなかったため、十二代目を引継いだといわれています。戦前は長らく旧

「織田信長を刺した槍」は長さ三メートルあり、浄泰寺(唐津市)の寺奥

朝鮮総督府のお役人でした。安田姓が竹田姓になったのは、「当時、長男は徴兵されないと教わり、養父になった」。東久さんは、生前、こう聞いていたそうです。

また、「先祖の安田作兵衛の功や浄泰寺にある槍の由来は祖父(竹田末吉)さんが機会あるごとに話してくれたので、誇りに思っています。こう語ってくれました。

立花宗茂にも仕えた有力武族からも手紙「本能寺の変」において安田作兵衛の活躍についての資料はつぎのようです。

六月二日未明、明智勢が「龜山城(丹波)」を出て「本能寺」に向う途中、「沓掛」に小休止したとき、明智光秀が手練の物頭安田作兵衛を呼び出して、「ここより先行して(織田信長に)内通する者があるかもしれないので、みつけしだい斬り捨てよ」と命じています。

「明智三羽ガラス」の勇士安田作兵衛は、二座の間に進み、この庭で槍を構えた信長とわたりあった。奥座敷に入った信長を追った安田作兵衛は燭台(しよくだい)の灯をうけて障子に映った影をめぐって突き信長の右脇腹に深手を負わせた(「古談實録」)。「森蘭丸と戦って殺し、進んで信長の寝所に入り、刺して、その衣袖を獲て帰った(野史)」などの記録があります。

安田作兵衛は、このあと羽柴秀勝(秀吉の養嗣子)、羽柴秀長(秀吉の異父弟)、浦生氏卿(秀吉の有力武将)、立花宗茂(筑後・柳河城主)などにも仕えたといわれています。

安田作兵衛が、柳河藩に仕えたり、「文禄の役」出兵のとき



会員の作品をお 会報紙面で
まわしています の相互交流
をしましょう。

創作、随想、釣り自慢、レジャー紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの仲間づくり——なんでも歓迎します。

投稿作品には、テーマと住所・氏名・年齢・職業(学校・学年)・出身地をご記入ください。

あて先は 〒81-0福岡市中央区天神四丁目一六、
昭和セントラルビル、県務局

唐津城に、織田信長を刺した「安田作兵衛」のやりを展示

佐賀市などに子孫がいた



安田作兵衛13代 東さん夫婦

「本能寺の変のあと作兵衛は唐津にいた安田作兵衛」。天正十年(西暦1582)六月二日未明、「本能寺の変」のとき織田信長を刺した明智光秀方の槍の名手のち「天野源右衛門」と名前を変えて唐津藩の初代藩主寺澤廣

高に仕えました。このときの槍が唐津市弓鷹町、「浄泰寺」(福富寿光住職)の寺宝になり唐津城に展示されています。また安田作兵衛の直系十三代目、十四代目の子孫が北九州市、福岡市、佐賀市に住み家系譜も伝承されています。「本能寺の変」

は戦国時代に終止符を打ち豊臣秀吉の全国統一の引金になった日本史の大きな事件。「安田作兵衛と槍」物語は唐津市の観光客誘致の「目玉」に期待されます。

直系十三代、十四代子孫は佐賀などにいた安田作兵衛の直系子孫というのは、十三代が竹田猛さん(および実妹の東義一さん(おとゑ)妻久(ひさし)さん(この二人。十四代は東さん夫婦の長男の東義一さん(おとゑ)同長女の豊富秀吉の下手人探して、九州に落ちた家系譜によると安田作兵衛は美濃国不破郡安田村の生まれ。父親は郷士。十一歳のとき宝蔵

院流松田主膳に師事。在所近くの十兵衛(明智光秀)が日向守になり織田信長に仕えていることを知り、訪ねて家来にしてみました——といわれています。

「本能寺の変」後、関白職についた豊臣秀吉が主君織田信長殺しの下手人探索を始めたために天正十四年春、妻衣(きぬ)と嫡男を妻の実家(越前)に預け、単身九州に下りました。同十五年旧知だった寺澤廣高に認められて禄高一万石で仕官して、「天野源右衛門」に名前も変えました(地元には伝わる「松浦拾風土記」によると変名して京都に潜伏生活して、仕官禄高八千石と伝えます)のち慶長二年(1597)六月二日没した。戒名「菩提智仙禅定門」。「浄泰寺」に墓も伝わっています。

「藩主が五万石(当時)なのに一万石の家来を養うのは無理なので辞退。嫡男に安田作兵衛の名前を継がせてもらい、知行三百石をうけた」といいます。寺澤藩は親子二代で改易除封をうけたので、安田作兵衛の子孫は縁故をたどって姫路侯神原忠次に仕えて、のち越前・高田藩に移ったそうです。

十二代目、安田から竹田姓になった十二代竹田猛さんは、越前・

料亭 右近

右近徳次

(県人会相談役)

〒815 福岡市博多区住吉1丁目4-15

TEL 092(281)2736~9 出身地 佐賀市

竹崎観世音寺「修正会鬼祭」が 国の重要無形民俗文化財指定

文化財保護審議会（小村行雄会長）は、昨年末、藤津郡太良町、竹崎観世音寺「修正会鬼祭」（しゅじょうえ・おにまつり）など国の重要無形民俗文化財四件、無形民俗文化財十一件の選挙について文部大臣に答申しました。県内の無形民俗文化財の国重文指定は、「荒踊り」（武雄市・五十二年度指定）、「唐津くち曳山行事」（唐津市・五十五年指定）について三件目。全国では六十九件になります。

「鬼祭」は、奈良時代から伝わり、別名「裸祭り」ともいわれる海の男たちの勇壮な祭り。「竹崎の沖合いに住む、海の鬼、観音堂内の鬼箱に封じ込められている。山の鬼」が、正五日夜の満潮時にお互いに呼びあひ、一緒にになると天変地異が起ると伝承。祭りは、この鬼たちを引き離して一年の無事を祈願するものです。

期間中、未婚の男は「若者宿」既婚の男は「宿者宿」につめて、出かせぎや就職先から戻ってくるのがルールです。

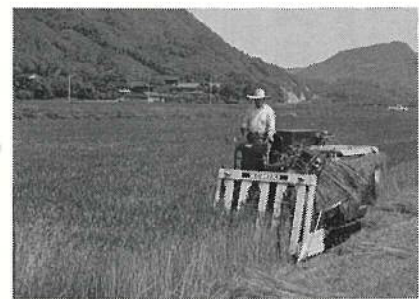


を中心にした漁村。百二十戸。「鬼祭」は、海に生きる人たちが

の厚い信仰心によって守られてきました。

古賀さん麦作の最高賞

佐賀県大和町、農業古賀明さん（三）が、昭和五十九年、麦作共助会において最高賞「農林水産大臣賞」を獲得しました。あわせて県産麦は「品質日本一」になりました。



十二年産の山口耕一郎さん（相知町）について七年ぶりです。ことしの佐賀県産麦は、播種期、生育期の気象条件に恵まれて史上最高の豊作でした。

米も三番目の豊作
10ヶ当り541*
佐賀県の昭和五十九年産水稻は、天候に恵まれ、病害虫被害も平年より少なかったことなどにより、作次指数104「やや良」。十アール当たり収量五百四十一*（平年比二十三・増）史上三番目の豊作でした。

で、トップ青森県とは八十・差。これまで県産米の十アール当たり収量のトップは五百四十六*（四十七年産）でした。上位等級率は、八六％とまずまずだったが、モチ米は未熟粒混入が多いことなどもあり四九％でした。

唐津の茶、焼物セット

が好評―北波多村
東松浦郡北波多村徳須恵、唐津市農協北波多支所（上村久支所長）は、ことし、特産品開発村おこし運動の一環として地元銘柄品「唐津茶」「唐津焼湯のみ」セットを開発。佐賀県内の農協Aコープ系列を通じて販売しているが、反響が大きい。

村内の特産品である「唐津茶」の銘柄確立について、同農協茶業部会（前田満部会長、二百人）が、地元の北波多村商工会と話し合い、「唐津焼湯のみ」とのドッキングを実現した。

三千五百円―五千五百円。まず、「おいしい唐津茶に親しんでもらおう」というわけだが、「年木には準備していた五千セツトがなくなりました」という好評ぶりだった。

東松浦郡北波多村徳須恵一七八、唐津市農協北波多支所まで
095564・3131
40年ぶりの太鼓浮立
牛津町・柿瀬瀬地区
小城郡牛津町柿瀬瀬地区では、「太鼓浮立」が、四十年ぶりに復活、町文化祭で披露しました。

勇壮さが売り物でした。戦後、途絶えていました。「先祖から伝えてきた郷土の伝統芸能を守ろう」と、同地区の古老たちが呼びかけて保存会をつくり、約三十八万円をかけて浮立道具を購入しました。

栄美蘭さんは、古賀実さん（三根町）の長女美和子さんだった。

中国残留孤児の肉親探し

肉親探しのために昨年十一月訪れた中国残留孤児（黒龍江省関係四十五人）のうち栄美蘭さん（三）は、三養基郡三根町、農業古賀（旧姓高木）実さん（六）の長女美和子さんと分かり、三十九年ぶりに親子対面が実現。実家を訪れたあと帰国しました。

た妻子も相次いで栄養失調のため死亡。美和子さんは、避難先のチャムス市で「佐藤さん（女性）」の世話を受け、あとで中国人家庭に預けられました。

対面会場に駆けつけました。美和子さんは、日本永住の希望については、「育ててくれた養母が七十九歳でまだ生きてるので帰ることはできません。養母が亡くなった場合には考えるかもしれません」と話しています。



古賀実さん（左）と長女美和子さん（中央）親子

父親古賀さんは、戦前、旧関東軍に入隊。このあと昭和十五年結婚した先妻との間に美和子さんたち子供三人をもうけました。

だが、昭和二十年終戦のときソ連軍に抑留されました。残った

「むつごろ」の広告 広告ス欄をご利用ください ペース一回の広告料金はつぎの通り。
（全一段分） 幅十五×高さ四以内（二万円）
（一段二分の一） 幅七・四×高さ四以内（一万円）
（一段四分の一） 幅三・六×高さ四以内（五千円）
県人会報「むつごろ」は年四回発行しています。

問合先は、千八〇福岡市中央区天神四丁目一六昭和セン

新会員ご紹介

(敬称略)氏名、連絡先、電話番号、職業、出身地の順

(会 員)

(イの部)

井手 和男

▽RKB毎日ミュージックシステム▽佐賀市

(ウの部)

内村 喜代身

▽内村商店▽

佐賀県人の動き

山下 徳夫 運輸大臣(五十九年十月三十日付け)▽国会議員(佐賀県選出、自民)

山本 茂樹 福岡市助役・技術担当(十二月二十二日付け)▽前建設省九州地方建設局企画部長▽

▽佐賀市出身

内山 一正 佐賀新聞社・情報文化センター局長(一月一日付け)▽前・福岡支社長(

富士町

(カの部)

神野 亮三

▽神野青果▽浜玉

町

片江 武次郎

▽佐賀市

(コの部)

古賀 比敏

▽(株)ちんや▽上峰

村

(ソの部)

副島 勘治

福岡市佐賀県人会理事

▽佐賀市出身

光武 国統 佐賀新聞社・福岡支社長(一月一日付け)▽前・福岡支社営業部長▽

市出身

▽佐賀

林 照雄 福岡県・出納長(五十九年十月十七日付け)▽前福岡県秘書室長▽

出身

▽基山町

工務店▽佐賀市

(タの部)

詫間 虎雄

▽佐賀市

(ノの部)

野方 明

▽RKB毎日ミュージックシステム▽多久

市

納富 重彦

▽竹中土木▽富士町

(ヒの部)

秀 五十三

(ミの部)

有田町

▽リムス紳士服▽

古川 妻寛

(フの部)

フルカワ▽富士町

古川 忠満

▽伊万里市

前田 文敏

(マの部)

▽中村学園大学▽富

士町

(ムの部)

溝上 敏昭

▽溝上食料品店▽武

雄市

(ムの部)

無津呂 三代次

無津呂 瑞夫

▽富士町

▽みづほ印刷

編集デスク

福岡市佐賀県人会・顧問の山下徳夫・国会議員(佐賀県選出)が、運輸大臣に就任されて四カ月たちました。郷土佐賀県では故保利茂・国会議員が行政管理庁長官に就任されてから十

ぶりの大臣誕生です。長崎新幹線、佐賀空港の建設計画などがメジロ押しです。ご活躍が期待されます。

「会報」第9号をお届けいたします。関連記事・写真について佐賀新聞社から提供をうけました。寒い季節です。健康にご留意ください。(広報委員会)

会報

会報

会報

会報

会報